

広げよう！

クリーンエネルギー③

【隔月6回シリーズで掲載しています】



市では、地域特性に応じた新エネルギーを推進するため、新築や建て替えを行う公共施設に対し、新エネルギー設備の率先的な導入を進めています。

今回は、昨年12月に完成した山北支所庁舎に導入された木質ペレットを燃料とする「木質ペレット焚空調システム」を紹介します。

空調システム導入の経緯

新しく建設された山北支所庁舎は、事務室が間仕切りの無い広いスペースとなっているため、冷暖房を行うには多くのエネルギーが必要になります。

そのため庁舎の空調は、電気式空調機と木質ペレット焚空調システムの2つを導入し、お互いを補うように併用して運転するよう設計されました。



木質ペレット焚空調システム

この木質ペレット焚空調システムは、林野庁補助金（森林・林業・木材産業づくり交付金）を受けて整備したもので、全国的にも珍しく、県内では初めて導入されたものです。

空調システムの仕組み

木質ペレット焚空調システムは、庁舎隣に設置されています。

この空調システムは、木質ペレットをサイロから冷温水機に送り、燃焼して発生する水蒸気を利用して冷暖房を行います。水蒸気で暖められた（冷やされた）空気を庁舎内に循環させて、冷暖房を実現しています。



木質ペレット

年間13トンの二酸化炭素を削減

冷暖房に必要なエネルギーの一部を、自然エネルギーである木質ペレットを燃料とすることで、二酸化炭素の排出量削減につながります。

木質ペレット焚空調システムでは、年間およそ10トンの木質ペレットを使用する見込みです。電気式の空調機と比較すると、年間13トンの二酸化炭素の削減効果となり、自然環境に大きく貢献しているといえます。



山北支所庁舎内

山北支所では、この夏から木質ペレット焚冷暖房を行っています。このシステムの詳細などについては、同支所地域振興課（☎77・3111）へ。

● 問い合わせ

環境課新エネルギー推進室
☎53・2111（内線275）

木質ペレット焚空調システムが導入された山北支所

